

神奈川県立上溝高等学校 令和6年度 始業式 校長の話

改めまして、皆さん、おはようございます。令和6年度がはじまりました。

3月は、「春分の日」が過ぎても、雨が多く、寒い日が続きました。本校の校地内には、数種類の桜の木があります。正門玄関前に一本ある桜の木は、「祐道桜」といいます。河津桜よりも開花が遅く、ソメイヨシノよりは開花が早い桜です。3月27日頃には、満開でした。今、体育館前のソメイヨシノがきれいに咲いています。

明日、第79回入学式があります。243名の生徒が入学してきます。部活動の勧誘、やさしく、丁寧にして、一人でも多くの部員を確保しましょう。

昨年度に引き続き、校長は内田勝久です。地歴公民、世界史の教員です。どうぞよろしくお願ひします。

副校長先生も引き続き、松岡潤治先生です。国語の先生です。

教頭先生が代わりました。森 仁先生です。音楽の先生です。

始業式の校長の話は、4分です。私が皆さんにお伝えしたいこと、三つあります。

一つ目。皆さんは、なかなか気がつかないかもしれませんが、昨年度、学校の設備のさまざまな所が改善（改修）されています。

体育館正面の壁は、きれいに塗装をして、スクリーンとしても使えるようになりました。また、ステージ左右の緞帳も新しくなりました。

西館の二階から本館二階の職員室へ通じる場所、暗くなると段差があつて転びそうになるのを防ぐために、ライトが付きました。センサーで反応するのではなく、タイマーで暗い時間はずっと明るくなって、足元がよくわかります。

グラウンドのスプリンクラーも稼働するようになりました。外のトイレも改修工事が終わりきれいになりました。

食堂の扉も新しいのに変わりました。今後、食堂も少しずつきれいになっていきます。年度末になって、校舎内の床にワックスがけも済み、ピカピカになっています。

安全・安心な環境のもと、授業や学校行事、部活動に精一杯、打ち込んでほしい。

二つ目。学年もクラスも変わり、環境が変われば心機一転し、活力が湧くこともありますが、逆に不安を感じる人が多いことも事実です。そんな時こそ、友だちに「挨拶」や「声かけ」を心がけてほしいのです。自らを勇気づけることにもなります。

「互いに相違点があることは認めよう。たとえ今すぐ相違点を克服できないにしても、少なくとも多様性を認められるような世界を作る努力はできるはずだ。」

アメリカ合衆国 第35代大統領ジョン＝F＝ケネディのことばです。一人ひとりの価値観や置かれた状況の違いなどを理解することで、周りに対する配慮や心遣いができるのは大切なことです。

三つ目。昨年 of 始業式でも話しました。

一人ひとりが「夢」や明確な「目標」を持ってほしい。そして、その目標を達成するための計画にしたがい、真摯に取り組んでほしい。

修了式にも話をしました。

○普段の授業を大切にしてください。授業に集中する。

○家で勉強する習慣をつけてほしい。復習をしてほしい。

最後に、宣伝。4月から

- ・NHK 総合で「新プロジェクトX」という番組が始まります。人がこんなに夢中になれるんだ。夢中になって取り組む様子が描かれています。
第1回は、「スカイツリーの建設」がテーマ。
- ・NHK Eテレで 3か月でマスターする教養シリーズ
スッキリ、腑に落ちながらマスターする 世界史、数学、ピアノ が放送されます。
何か、得られるかもしれません。

今年度も皆さん一人ひとりが、「上溝高校生としてのプライド」(上高プライド)を持ち、笑顔を忘れず、互いに協力しながら、有意義な一年を過ごしてくれることを願い、年度当初の始業にあたり、校長のはなしとします。

令和6年4月4日
神奈川県立上溝高等学校長 内田 勝久